

【サマリー】(公示前勢力順、敬称略)

<質問6> 「ジェンダー主流化」について

女性の政治参画をより前進させるために、

① 政治家を志す女性の母数を増やすために、貴党自らがやっている支援は何か

| 政党 | 回答(一部抜粋) |
|--------|---|
| 自由民主党 | 女性議員割合30%を目標に、計画に沿い「女性議員」「子育て・介護」それぞれに支援金制度を導入。 |
| 立憲民主党 | 女性新人候補へ貸付金・相談窓口・メンター制度、ケアラー支援を整備し、立候補環境を改善。 |
| 日本維新の会 | ダイバーシティ推進局による議員支援。やベビーシッター補助制度などを導入。 |
| 公明党 | 10年後女性比率30%を目標に候補者擁立、両立支援、対話の場など多面的に支援を強化。 |
| 国民民主党 | 女性候補者比率半数を目指し35%目標を実現。クォータ制の導入を目指す。 |
| 日本共産党 | 女性比率拡大や候補者支援体制の整備を進め、役員登用や支部の支援を通じて平等実現を図る。 |
| 参政党 | 50歳未満女性候補者支援強化。選挙活動支援体制づくり、議員ノウハウの組織的提供・支援。 |
| 社会民主党 | 推進法を努力義務から「法的拘束力ある義務」に格上げし、クォータ制導入等法制度強化に努める。 |